

— 山形駅発／新庄駅着 —

# 冬の山形 美しき冬景色と温泉を楽しむ旅 3日間

日	スケジュール／宿 泊／食 事
①	<b>山形駅(午前) 山形県郷土館 山寺 蔵王ロープウェイ (夕刻) 天童温泉</b> 午後、山形県のほぼ中央にあり県内周遊観光の拠点となっている <b>天童温泉</b> へ。途中、山形市の中心部にある国の重要文化財「山形県旧県庁舎及び県会議事堂」を修復した <b>山形県郷土館</b> 、山形県を代表する名刹で、山全体が修行と信仰の場になっている <b>山寺(麓からの眺望)</b> 、蔵王を訪れ <b>蔵王ロープウェイ</b> に乗って標高 1331mの樹氷高原駅および標高 1661mの地蔵山頂駅に登り、 <b>冬の山形の絶景といわれ自然が創り出す冬限定の芸術・蔵王樹氷や山頂からのパノラマ</b> をお楽しみください。 【天童温泉泊】×××
②	<b>天童温泉(午前) 最上川下り 酒田 (夕刻) あつみ温泉</b> 午前、山形の小京都といわれ江戸時代には北前船の港として繁栄した <b>酒田</b> へ。途中、 <b>最上川の古口港から暖かな『こたつ舟』に乗って、船中から美しい冬景色を眺めながら草薙港までの約1時間の船旅</b> をお楽しみください。着後、日和山公園の近くにあり祭神は大己貴神と大山咋神 胸肩仲津姫神の三神を祀った <b>日枝神社</b> 、明治26年に米保管倉庫として建てられ酒田のシンボルにもなっている <b>山居倉庫</b> 、明和5年に本間家3代光丘が藩主酒井家のため幕府巡見使用宿舎として建造した <b>本間家日本邸</b> などを観光。その後、美肌の湯として知られ江戸時代には酒井家に愛された温泉地の <b>あつみ温泉</b> へ。 【あつみ温泉泊】朝昼夕
③	<b>あつみ温泉(午前) 出羽三山神社・三神合祭殿 新庄 (午後) 新庄駅</b> 午前、四方の山に囲まれた土地であるため日本一日照時間が短い町とされている <b>新庄</b> へ。途中現在の社殿は江戸時代の文政元年の再建で羽黒山頂の中心に建つのが <b>羽黒山、月山、湯殿山</b> の三神をあわせて祀る <b>出羽三山神社・三神合祭殿</b> を観光。着後、260年の歴史をもつ新庄まつりの山車2台や歴史・文化・観光を展示してある <b>新庄ふるさと歴史センター</b> 、新庄藩の御用窯として天保12年に開窯された <b>新庄東山焼</b> を観光。その後、新庄駅へ向かいます。 朝昼×

出発日	2月20日(火)
発着地	山形駅集合／新庄駅解散
旅行代金(おひとり／単位円)	
1人1部屋利用	158,000
2人1部屋利用	118,000
3人1部屋利用	116,000
利用予定ホテル 天童温泉：美味求真の宿 天童ホテル あつみ温泉：たちばなや	
最少催行人員：10名(定員16名) 添乗員：手話が出来る添乗員が同行いたします 食事：朝食2回／昼食2回／夕食2回 *旅行実施の有無は出発日の30日前に決定します。 *旅行代金は身体障害者第1種の手帳保持者と介護者割引適用の方となります。適用外の方につきましては、別途旅行代金をご案内いたします。	
山形駅までの交通案内 山形新幹線 つばさ127号 東京8:08/上野8:14/大宮8:33/山形11:04	
新庄駅からの交通案内 山形新幹線 つばさ150号 新庄15:17/大宮18:23/上野18:42/東京18:48 ※上記の時刻表は7月現在のものです※	



山形県郷土館



最上川下り 冬景色



新庄東山焼

\*1名さまでお申込みの場合、他のお客様との相部屋希望を承りいたしますが、相部屋になられる方がいらっしゃらない場合は、1人1部屋利用となります。  
\*名古屋や大阪、福岡から参加ご希望のお客様は、ご相談を承りますので、ご連絡をお待ち申し上げております。

## 旅行のポイント

- ★蔵王ロープウェイに乗って冬限定の山形蔵王での樹氷や、暖かな『こたつ舟』に乗って最上川下りをお楽しみいただきます。
- ★山形県内周遊観光の拠点で旅情あふれる温泉街がある天童温泉、日本海に面した美肌の湯として知られているあつみ温泉をめぐる。
- ★お食事は日本海で獲れた新鮮な魚介類の料理や、山形の郷土料理などで冬の味覚をお楽しみください。
- ★宿泊ホテルはスーペリアクラス以上の利用で、ゆったりとしたお部屋とたっぷりの温泉などでお楽しみください。
- ★全行程、専用バス利用と親切なガイドが同行しますので、ご高齢の方も安心してご参加いただけます。



山形蔵王 ロープウェイと樹氷



冬の山寺



最上川下り こたつ舟



酒田 山居倉庫の冬景色



酒田 本間家日本邸



出羽三山神社・三神合祭殿